

岩手北部森林管理署	
タイトル	森林作業道作設現地検討会
実施年月日	平成24年10月26日(金)
実施場所	岩手県八幡平市兄川山国有林20林班外
参加者	局署：岩手北部森林管理署 14名 外部：馬淵川上流流域森林・林業活性化センター 岩手県県北広域振興局二戸農林振興センター、 岩手県森林整備協同組合、安代地区国有林材生産協同組合、 葛巻町森林組合、二戸地方森林組合、浄安森林組合、 鹿角森林組合、署管内林業事業体等 43名 計 57名
【取組の目的・概要】 「森林・林業再生プラン」による、民有林との連携による集約化施業を推進するため、国有林で取り組んでいる効率的な列状間伐の導入、及び高性能林業機械を活用した間伐作業システムの定着を図る必要がある。 このため、流域活性化協議会、県等と連携し、現地検討会の開催や技術研修会を開催し、「見える化」を推進する。	
【取組の成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・森林作業道作設オペレーターの西間 薫氏を講師に招いて、実演を含めた現地検討会を実施したことにより、作業道作設技術の向上が図られた。 ・民・国連携した間伐現地検討会を開催することにより、効率的な作業システムによる技術の開発・普及が図られた。 	
【出された意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・作業道作設では、現地発生材の使用、特に表土の使用によって路肩が緑化し、強度が増すなどいろいろ勉強になった。 ・林業機械のメンテナンスでは、機械を遊ばせないために、日頃のメンテナンスはしっかりすること。 ・チェーンは事前に研いだものを持って来ることなど、効率的な使用方法が勉強になった。 	
【今後の課題】 民有林ではなかなか間伐が進まない現状から、引き続き、共同施業団地等の作業地の集約化を図るとともに、現地検討会の開催等、効率的な作業システムの定着と、間伐推進に向けたPR活動を継続して取り組んでいく必要がある。	

タイトル 森林作業道作設現地検討会



開催挨拶・現地説明



森林作業道作設説明



森林作業道作設実演



森林作業道作設指導



ハーベスタによる造材



林業機械のメンテナンス説明